

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 加藤 錦司

園長だより「えがお」

梅雨に入り蒸し暑い日々が続く今日この頃です。子どもたちは園生活に慣れてきましたが、疲れが出てきた子どももいます。例年ですと、4・5月のゴールデンウィークがあり、疲れが出てリフレッシュできましたが、今回はありませんでしたので、土・日曜にしっかり休養をとってやってください。

幼稚園では例年5月に内科健診や歯科検診を行っていましたが、今年は1か月ほど遅れて行いました。歯磨きの習慣も日が経つにつれて慣れてきたようです。最年少さんと年少さんは『自分でぶくぶくうがいができる。自分で歯ブラシを持って歯磨きする』 年中さんは『歯に歯ブラシが当たるように磨ける』 年長さんは『第一大臼歯に歯ブラシが当たって磨く』が歯磨きの目安です。



最年少さん・年少さんは嫌がらずにまず歯ブラシに慣れることですね。ご家庭でも子どもたちに歯磨きをさせ、保護者の方で仕上げみがきをしてあげてください。

「消毒」



幼稚園ではコロナウイルス感染予防のため、朝や給食の前の手・指のアルコール消毒の他に、トイレ、ドア、机、椅子、ロッカー、床を次亜塩素酸ナトリウムで消毒しています。担任で手分けし、保育後行っています。子どもたちが使うブロックやおもちゃについても消毒し拭いて天気の良い日は天日に干します。また、バスについては、乗車前・1コースと2コースの入れ替え時・降車後に消毒をしています。



保育室での座る向きは、全員前向きに座らせています。そしてマスクは保育室では常時着用です。エアコンをつけ換気をしながら、熱中症とコロナウイルス両方に注意しながら保育をしています。園庭では熱中症が心配ですのでマスクは着用せず活動しています。



「寝（しつけ）」

子どもを寝るときのポイントは、「褒めること」と「繰り返し行わせること」です。保護者の皆さんは、お子さんに「いい子だね。幼稚園の持ち物はそろえられましたね。」と、褒めながら寝られていることと思います。さらに、「あなたはよい子だから、きっとそろえられるよね」と、子どもの自主性にも語りかけられていると思います。子ども達は、大好きなお母さんの期待に応えようと頑張ります。また、褒められたことによって、脳の中のホルモンが分泌され、繰り返し頑張れるようになります。さらに、繰り返し行うことによって、脳の細胞がネットワークをつくり、持ち物を準備しようとする行動のパターンができあがります。

そのうちに、持ち物を準備しないと気持ちが落ち着かなくなります。よく、「体が覚えた」などと言いますが、できたことが自信になり、自分から努力するようになります。